



足・口腔・咽頭機能の状態に焦点を当てた 健康管理によるフレイル対策の効果と検証

キーワード 足, 口腔, 咽頭機能, フレイル

研究内容

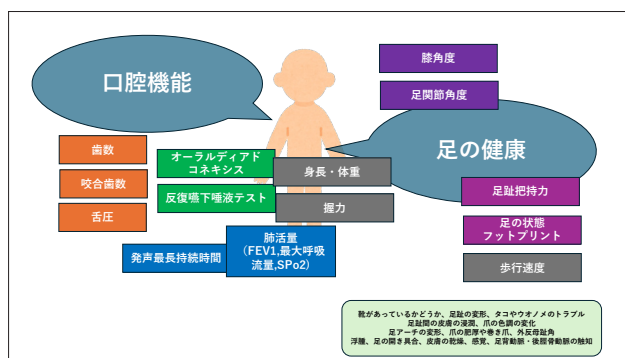
フレイルとは、年齢を重ねることで体や心の働きが弱まり、病気や介護が必要になるリスクが高まる状態です。日本では、フレイル状態を把握するため、『基本チェックリスト』をはじめ、いくつかの評価方法が用いられています。近年は、日本発の概念である「オーラルフレイル（口の虚弱）」が注目されています。歯の本数だけでなく、かむ力、舌や唇の動き、飲み込みなどの口の機能が健康長寿に関係していることがわかってきました。私たちの研究グループは、歯科医師、看護師、理学療法士を含む多職種チームで、地域に住む高齢者の方々を対象に研究を行っています。口腔機能と身体機能のさまざまな項目を測定し、フレイルの段階に応じた口腔機能と身体機能の関連を明らかにすることを目指しています。



フィールド調査①での様子

関係論文、特許・著作物等の知財情報、連携の実績

- ・藤井かし子, 池川裕子, 林純子, 齋藤麻子, 龍田佑樹, 能瀬千恵, 足の健康と口の健康の関連性に関する概念構築の取り組み 文献レビューより. 第4回日本フットケア・足病医学会 関東甲信越地方集会, 2025年5月
- ・藤井かし子, 池川裕子, 林純子, 齋藤麻子, 龍田佑樹, 能瀬千恵, 口腔内状態と身体機能の実態についてーロバスト・フレイル・プレフレイル群の比較から. 日本サルコペニアフレイル学会, 2025年11月
- ・藤井かし子, Foot Health of Older People Living in the Community: Scoping Review, 日本フットケア・足病医学会誌, 6(3), 158-168, 2025
- ・藤井かし子, 編著: 福島県原発事故被災者に関する実体と展望 被災者を支える研究と活動の記録から. 学術研究出版, 2025, (ISBN: 9784911449240).
- ・その他: 現在国際誌に投稿中



調査をした項目

社会連携・産学連携の可能性

口腔機能と身体機能を統合的に考えたフレイル対策予防プログラムを地域に提案できます。